

鮪延繩漁業試驗

五二

試驗趣旨

薩南海面ニ於ケル沖合漁業開發ノ爲メ明治四十四年以來大鮪延繩漁業ヲ開始シ専ラ種子島東南海三十哩以內ノ範圍ニ於テ試驗シ來レル結果近時縣下小型發動機漁船ニヨリ從漁スルモノ數十隻ニ及ビ漁場ノ範圍狹隘ヲ告グルニ至リタルヲ以テ大正九年度ハ大島郡東海岸ニ同十年度ハ屋久島南會根ニ試驗シ新漁場トシテノ端緒ヲ開クニ至リ爾來之ヲ繼續シ進ンデ吐喝喇列島ニ新漁場ヲ求メントシ併セテ民間漁船ノ指導ニ任ゼリ

試驗方法

試驗船ハ照洋丸(五五噸七十五馬力)ニ船長以下十六名外ニ主任者乗組ミ前後二期ニ分チテ試驗セリ前期ハ専ラ吐喝喇列島ニ鯨ト共ニ群游スル黃肌鮪ノ漁獲ヲ目的トシ延繩漁法ヲ應用セントシ漁具ノ構造ヲ左記ノ如ク改メタルモノ十鉢ヲ準備セリ、後期ハ既知漁場ニ於テ前年同様ノ漁具四十鉢ヲ準備シ技系ニハ「ワイヤー」ヲ附シ更ニ紺「せきやま」ヲ混用シ漁獲能率ノ比較ニ供シ漁具改善ノ資料ニ供シタリ

漁具構造

吐喝喇列島ニ於ケル黃肌鮪ハ魚體壹貫目以上參、四貫目程度ノモノ多キヲ以テ從來使用ノ大鮪延繩ニテハ稍々強大ニ失スル嫌アリタルモ初期ノ事トテ幹繩ハ大鮪延繩ヲ其ノ儘充當シ技系及釣鉤ヲ小型トシ技系ノ間隔ヲ縮小セリ

幹繩ハ一尋十二匁ノ麻綱二百四拾尋ヲ以テ一鉢トス技系ハ三種トシ大系ハ麻製長五尋ニテ十八匁モノ小系ハ麻製六尋五匁せきやまハ四尋八匁ノモノヲ用ヒタリ、技系ノ間隔ハ十二尋トシ一鉢十八本付トシ大系八本小系七本せきやま三本ノ割ニ結付シ大系及せきやまノ先端ニハ二十七番線二本撚ノ「ワイヤー」二尺五寸ヲ付シタリ、釣鉤ハ鋼鐵線ニテ瀬魚釣型ニ手製、一本重サ五分三厘トス浮標ハ桐丸太長三尺元口徑二寸モノ一鉢三本ヲ用ヒタリ浮標綱ハ幹繩同様ノモノヲ用ヒ長サ二十尋トセリ

使用法

活餌ヲ裝シ魚群ニ向ヒ潮上ヨリ投縄シ一回三鉢乃至五鉢ヲ用ヒ魚群ノ通過ト共ニ引揚げ更ニ追及シテ繰返シ數回之ヲ行フ、此ノ間魚群ヲ誘集スルタメ活餌ヲ投與ス

試験經過及成績

試験ハ十月十八日ヨリ翌年二月三日迄ヲ通ジ前後二期ニ於テ施行シ前期ハ專ラ新漁場ノ探求ヲナシ後期ハ既知漁場ニ付指導ニ任ゼリ、此ノ間百九日ニシテ出漁回數二十六回、鮪五〇尾其他二〇尾價格千貳拾八圓余ヲ得前年ニ比シ期間ニ於テ四十日出漁回數十三回ヲ増シタリ

前期試験ハ十月十八日ヨリ十一月五日迄十九日間ニテ三回出漁シ鯉壹尾旗魚壹尾雜魚一尾ヲ漁獲セリ本試験ハ十月十八日鹿兒島ヲ發シ山川ニテ出漁準備ヲ整ヘタルモ當時適當ノ活餌ナキタメ鹽藏小鰻ヲ積ミテ同月二十一日をがんみつ曾根ニ出漁シタルモ鮪群ニ會セズ試ニ同漁礁上ヲ一回五鉢宛前後三回ニ亘リ十五鉢ヲ使用シ第一回ハ前七時五十分ヨリ同十一時三十分迄從漁シタルモ漁獲ナク第二回ハ正午ヨリ后二時三十分迄使用シ前回ヨリモ稍々漁具ヲ沈下セシメタルニ二重潮ニテ技系纏絡シタルモ鯉壹尾漁獲アリ第三回ハ同三時三十分ヨリ五時三十五分迄礁上百六尋ノ海深ニ於テ從漁シタルモ潮流急ニシテ漁具纏絡其ダシク漁獲ナシ二十二日惡石島ニ轉漁シテ前後二回十鉢ヲ使用シタルモ魚群ナク二重潮ニテ漁具纏絡シ魚罹ナク荒天トナリタレバ更ニ生餌ヲ撰擇シ撒餌ヲ使用シテ魚群ヲ誘集スルノ方法ヲ執ルコトニシ一先ヅ歸港セリ同二十七日裝餌活鯉鰻及撒餌用活たれくち鰻ヲ活魚艙ニ活養シ諏訪瀬島ニ出漁シ灰島たか漁場ニテ鮪群ニ會ヒタレバ同魚礁瀬上ヨリ活餌ヲ裝シテ前十時ヨリ投縄シタルニ漁具三鉢ヲ投縄シ終リ直チニ延縄ノ監視ニ移リタルニ北東ノ急潮ニテ收納スルノ暇ナク漁具全部海中ニ引込マレ遂ニ全損スルニ至レリ、礁上魚群多キモ潮流急激ナル爲メ稍々北方須崎岬沿岸ニ轉ジ魚群ヲ認メ后一時ヨリ二時迄二鉢投縄使用シタルモ魚群沖合ニ魚散シ撒餌ニ依リ誘集ニ努メタルモ效果ナク第三回ハ再ビ前記灰島たかノ西側ニ偏在シテ后三時ヨリ同五時迄從漁シ網態良好ナリシモ魚群ナク漁獲スルヲ得ザリキ其ノ後再ビ荒天トナリ中島ヨリ口永良部ニ避泊スルコト五日間ニ及ビ十一月三日

口之島附近上ノ瀬ニ於テ試験シタルモ魚群ナク第一回ハ漁具纏絡シタレバ直チニ引揚ゲ第二回五鉢第三回六鉢使用シ旗魚壹尾雜魚壹尾ヲ漁獲シタルモ潮流東ニ急速ニシテ鮪ノ漁獲ナカリキ

之ヲ要スルニ前期試験ハ鮪ノ洄游ハ例年ニ比シ少ナク加フルニ當時未ダ暖流ノ勢力旺盛ニシテ水温二十五度以上ニ達シ魚礁上常ニ急潮ニシテ漁具ノ使用困難ニテ豫期ノ結果ヲ得ルニ至ラザリシモ今後充分研究ヲ爲スノ要アルモノトシ一時試験ヲ中止セリ

後期試験ハ十一月七日山川ヨリ出漁シ中島ニテ北西荒天ニ會シ數日滞在シ十一日屋久新會根ニ出漁シ礁上ニ投繩シタルモ潮流交錯シ漁具纏絡シ繩態不良ニテ鮪ノ漁獲ナク機關修理ノ爲メ種子島ニ轉ジ十五日同島東南海ニ出漁シ引き續キ四日間從漁シ黄肌どんばノ漁獲ヲ見タルモ魚群薄ク下旬ハ餌鰯ノ漁獲ナク種子島方面柔魚不漁ノタメ出漁期會乏シク十二月ニ入り上旬高知縣足摺崎南方百哩附近ニ出漁シタルモ漁獲ナク種子島東海五十哩附近ヨリ漁獲ヲ見之ヨリ北上シテ油津沖ニ亘リ數回出漁シ黄肌目鉢鮪ノ漁獲ヲ見タリ、中旬以後種子島方面ニ出漁シタルモ北西ノ荒天多ク下旬ニ亘リ二回出漁シ相當ノ漁獲ヲ見タリ、一月ニ入り上旬荒天多ク中旬天候恢復ト共ニ屋久島南方四十哩附近好漁ヲ見民間船ノ出漁ヲ促シタルモ下旬再び荒天トナリ一回出漁シタルモ漁獲ナク終漁セリ

鮪漁業ト水温 本年出漁ノ鮪漁場ニ於ケル各月水温ハ

十月 中 七島漁場 二四度五—二六度 鮪群ニ會セス

十一月 中 屋久島南ヨリ種子島東ニ至ル漁場 二三度六—二四度四・きわだどんば鮪多クめはち鮪ハ少シ

十二月 中 種子島ヨリ土佐清水沖ニ至ル漁場 二〇度七—二二度五 めはち鮪漸ク多シ

一月 中 種子島東漁場 一八度六—二二度 殆ントめはち鮪ナリ

種子島東漁場ノ水温ハ之ヲ前年ニ比スレハ十二月中ハ前年ヨリ低ク一月ハ略ホ似タリ

根據地熊野港ヨリ漁場ニ至ル航途ニ於テ觀測セル水溫ヲ示セハ左ノ如ク

觀測月日	針路	熊野ヨリノ距離及表面水溫									
		一哩	七哩	十四哩	二十一哩	二十八哩	三十四哩	四十哩	四十七哩		
十一月十五日	東南	二二、四	二三、〇	二三、〇	二三、六	二三、五	二三、〇	二三、三	二三、四		
十二月八日	南々西	二二、五	二二、五	二二、五	二二、七	二二、七	二二、〇	二二、三			
同 十四日	東南	二二、六	二二、八	二二、八	二二、一	二二、〇	二二、二	二二、三			
同 二十四日	東	二二、五	二二、〇	二二、〇	二二、〇	二二、四					

從來同上航路ニ於テハ距岸八哩ヨリ十六哩附近ニテ水溫低下スル例アリ表面流ニ於テ南北交錯スルヲ示セルニ本年ハ其例少カリシハ其航路ノ稍南偏シ南下スル冷流ノ勢力及ハサリシニ由ル
更ニ鮪ノ漁獲アリシ位置ニ於ケル表面ヨリ下層ニ至ル間ノ水溫ヲ調査セルニ左ノ如ク

觀測月日	位置	天候	水溫及深度					漁獲物
			表面	五十米	一百米	一百五十米		
十一月十五日	ヘ	晴北三	二三、五	二三、四	二三、四	二〇、六	シヒ二	フカ三
同 十六日	ト	同北二	二三、八	二三、五	二三、八	二二、五	シヒ五	
同 十七日	チ	同北四二	二三、八	二三、七	二三、六	二一、八	シヒ五	
同 十八日	リ	同北東一	二三、六	二三、七	二三、六	二〇、六	シヒ一〇	カツチ一
十二月二日	メ	同北西一	二二、四	二二、四	二二、三	一八、八	シヒ一	
同 三日	ル	曇北々西一	二二、二	二二、七	一九、八	一八、四	シヒ二	カシキ一
同 五日	オ	同北二	二二、五	二二、二	一九、五	一九、八	シヒ三	
同 八日	ロ	同北々西	二二、四		二二、五	二二、〇	シヒ一	カシキ一
同 九日	カ	晴北々東一	二二、八	二二、八	二二、三	一八、五		

同	十四日	ヨ	曇北二		二三、二		二三、一	二一、六	フ カ ビ ー 三	カ シ キ ー
同	十五日	タ	曇北三		二一、八		二一、五	二〇、一		
同	二十五日	ソ	晴東一		二〇、四	二〇、四	一九、八	一九、二	シ ビ ー 〇	
一月	九日	ッ	雨北東四		二一、〇	二〇、五	二〇、一	一九、八		
同	十三日	ホ	曇北東一		二〇、〇	一九、五	一八、八	一八、四	シ ビ 二	
同	十九日	△	晴北東四		二〇、九	二〇、七	二〇、七	二〇、八	シ ビ 七	

五六

前表ニ因ルトキハ觀測回數十五回中實際鮪ノ漁獲アリシハ十一回ニシテ其表面ト百五十米ノ下層水溫ノ差ハ最大三度
八最小〇一度ニシテ其差ノ大ナリシトキ四例ノ内多漁一少漁三回共差ノ小ナリシトキ七例ノ内多漁四回少漁三回ニシ
テ概シテ上下水溫ノ差小ナルトキ漁獲多キヲ見ルナリ

漁具比較

漁具比較　鮐細漁具ノ改善トシテせきやまノ先端ニ二十七番線ワイヤ七本撚リモノ三尺ヲ附シ使用スルニ至リタルモ猶ワイヤヲ附セサルモノ及せきやまヲ紺色ニ着色シ使用成績ヲ比較セルニ左ノ如ク

調査月日	十一月十五日	同	同	同	同
漁獲物	かつお つな なほた	めし はん ちほ	き わ た	とき ん ぼ	とき ん ぼ
漁具別	白セキトマ 紺色セキトマ 白セキトマ 別	白セキトマ 紺色セキトマ 白セキトマ 別	白セキトマ 紺色セキトマ 白セキトマ 別	白セキトマ 紺色セキトマ 白セキトマ 別	白セキトマ 紺色セキトマ 白セキトマ 別
附記	技糸ノ長キモノニ魚糶リ多シ	同 短キ方ニ多シ	同 前	同 前	同 前

十二月三日	かめき	かんち	一	一	長短トモ同シ
同 十四日	ふつめ	じばわ	一	一	技糸ノ長キ方ニ多シ
合計			二	三	四

白せきやま最モ良好ニシテ白せきやまワイヤ付之ニ亞キ紺色せきやま最モ劣レリ本成績ハ前年ト同様ニシテ「ワイヤ」ヲ附セサル白せきやまヲ最モ良好ナリト認ムルヲ得ヘシ

漁業表 (大正十三年度 照洋丸)

鮪延縄漁業

月 日	風天候	漁場	漁具	漁具	表面温度	潮流	餌料ノ種類	漁獲時ノ水深	漁獲種類	漁獲数量	漁獲物	摘 要
十月十八日 晴	北	一北										出漁準備ヲ整ヘ后五時二十分鹿兒島發山川ニ至リ鹽藏餌鰯種込同地ヨリ出漁
十九日 曇	北	一北										前四時三十分芽瀬タニニテ鳥付鰯群ヲ認ム后九時三十分寶島着泊
廿日 雨	北											荒天ノ爲メ寶島休泊
廿一日 曇	北々東	イ	AM8 ⁴⁵ PM5 ³⁵	AM8 ⁰⁰ PM5 ³⁵	二五度	南東緩又	連サルメ	10メ	カツタ	一		前四時寶島發同八時わかんみツ曾根着從漁二重瀬ニテ漁獲ナシ僅カニ鰯壹尾漁獲セルノミ后五時三十分終漁同十一時惡石島着泊
廿二日 曇	北東	ロ	AM8 ⁴⁵ PM5 ³⁵	AM8 ⁰⁰ PM5 ³⁵	二五度	南東緩又	連サルメ	10メ	カツタ	一		前八時惡石島ニテ從漁二回十鉢使用漁獲ナシ水温計破損ノ爲メ觀測ヲ欠グ

鮪漁場探求ノ目的ヲ以テ本縣吐噶喇列島所在ノ鰹漁場ニ出漁シ鰹ト共ニ群游スル大型キワダ鮪ノ延縄漁法ヲ試験スル目的ヲ以テ從來使用ノ大鮪延縄漁具ニ單ニ枝糸及鈎鈎ヲ小形トシ活餌ヲ裝シテ魚獲ヲ試ミントセシモ當時適當ノ活餌無カリシ爲メ鹽藏鰻ヲ充用シ、をかんみつ曾根及惡石島ニテ第一回ノ試験ヲナシタルモ漁群ニ會セサリシ爲メ「かつを」壹尾ヲ漁獲セルノミ第二回ハ活鰹ノ恰好餌ヲ得別ニ魚群誘集ノ目的ヲ以テ撒餌トシテたれくち鰻ヲ活養シ

諏訪瀬島ニテ魚群ニ會シ試驗シタルニ潮流急ニシテ投網後須臾ニシテ漁具全部海中ニ没入シ遂ニ全損ヲ招クニ至リタル爲メ漁獲ナク更ニ漁場ヲ轉ジテ試驗ニ努メタルモ遂ニ魚獲リナカリキ、爾後月末ニ亘リ荒天トナリタル爲メ活餌ノ斃死スルモノ多ク再度試驗ノ機會ナカリキ

一般漁況モ本年ハ當初豫期セル如キ鮪ノ群游稀ニテ例年ニ比シ魚群少カリシ爲メ適當ノ試驗ヲ得サリキ

月	日	風天	力候	符號	漁場	使用時	漁具	同數	表面	水深	潮流	漁獲時	種類	數量	價額	摘	要
十一月	一日	雲	東													荒天口永良部休泊	
	二日	雲	北													全	
	三日	雲	南			AM 11 ⁰⁰		16								前八時口永良部ヨリ出漁前十一時投網五鉢、潮流急ニシテ危險ナル爲メ直チニ引揚ゲ正午五鉢投網更ニ后三時六鉢投網全六時終漁	
	四日	雲	東			PM 6 ⁰⁰										前一時竹島通過全十時山川寄港	
	五日	雲	北													后三時十五分鹿兒島歸着	
	六日	雲	北													后二時四十五分鹿兒島發	
	七日	晴	北													全六時山川入港	
	八日	晴	北													餌購入ノ爲メ滞泊	
	九日	雲	西													餌飼養	
	十日	晴	北													后五時十分山川ヨリ出漁	
	十一日	晴	北													前零時五十分屋久島燈臺通過セル頃ヨリ荒天模様トナリ風浪アリ全九時中島ニ避泊	
	十二日	晴	北													荒天中島休泊	
	十三日	晴	北													荒天驟雨中島滞泊	

[illegible]

記事

大鮪漁期ニ入リタルヲ以テ種子島既知漁場ヨリ漸次北進シ油津沖合ニ亘リテ魚信ノ探求ニ從事シ中旬相當漁ヲ見タルモ下旬時期尙早ナリシ爲メ餌鰯ノ適當品ナク余議ナク出漁ノ機會ヲ得サリキモ同期ニ於テハ油津沖合魚群來襲多ク屢々好漁ヲ見タル船多數アリキ

十二月一日 晴	月 日	風 天	力 候	符 號	漁 場	使用 漁具	回 數	水 温	表 面	潮 流	海 流	種 類	餌 料	ノ 漁獲	深 水	種 類	漁獲 數量	價 額	摘 要
二 日 曇		〇	北	×		PM1 ³⁰ PM9 ¹⁵	34	三二	東北東緩	速	流	種	料	ノ	深				后八時五十分清水港發針路南 后一時三十分清水港ヨリ百十四渚地点投縄全六時揚縄全 九時終漁直チニ西ニ航走

十五日 曇	十四日 曇	十三日 晴	十二日 晴	十一日 曇	十日 曇	九日 晴	八日 曇	七日 曇	六日 雨	五日 曇	四日 曇	十二月三日 曇
三北	二北	三四	北西 五	北西 五	北西 五	北二東 一	北二西	三四	西	北東 二	北東 五	北二西 一
タ	ヨ					カ	リ			サ		ル
PM3 ³⁰ PM8 ⁰⁰	AM11 ³⁰ PM9 ⁰⁰					AM10 ¹⁷ PM11 ³⁰	AM11 ³⁰ PM7 ²⁰			AM7 ³⁰ PM8 ²⁰		AM10 ³⁰ PM9 ¹⁰
20	34					34	20			22		34
三、 六北	三、 三北					三、 七東南東緩	三、 四南			三、 五東		三、 五東北東緩
急	急						東			急		
全	全 速カ ルメ					全	全			全		全 速カ ルメ
	メツフ ン バ ン カ ホ					ツメ バ ン チ				メ バ チ 大 大		カ メ バ チ 大 大
1	1					1	1			1		1
1	1					1	1			1		1
空、 雲												二 七 四
前九時熊野發針路東后三時三十分投縄后六時揚縄全八時終漁獲ナシ荒天ノタメ鹿兒島ニ向フ	前六時三十分熊野出漁針路東南東前十一時投縄后六時揚縄全九時終漁全十二時熊野入港	全	全	荒天休泊	前五時熊野入港	前七時始動北東微北ニ向フ前十時投縄后七時揚縄全十一時終漁荒天ノ爲メ熊野ニ向フ	前四時三十分出漁、針路南々西、前十一時投縄后五時三十分揚縄全七時三十分終漁、漂泊	前七時油津發種子島ニ向フ 后五時三十分熊野入泊 前四時三十分出漁、針路南々西、前十一時投縄后五時三十分揚縄全七時三十分終漁、漂泊	降雨休泊	前三時三十分油津ヨリ出漁針路南東前八時投縄后五時三十分揚縄八時二十分終漁后十一時油津入港	荒天トナリタレバ前七時三十分始動 后二時三十分油津入港	前十時三十分投縄后五時三十分ヨリ揚縄全九時終漁漂泊

十六日	十七日	十八日	十九日	廿日	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅日	卅一日
晴	晴	晴	晴	晴	晴	曇	曇	曇	晴	雨	晴	晴	晴	晴	曇
二南	四西	三北	三北	三北	三北	三北	四西	一東	南西	北西	一西	一西	一西	一西	三東
				レ					ソ						
						NOON			PM0 ¹⁰						
						PM1 ⁵⁰			PM9 ⁰⁰						
						10			30						
						三、七北			三、七東			一、九北	一、九北	一、九北	一、九北
						緩			緩						
						鹽イワシ			全						
									キメ						
									アバ						
									ダチ						
									三七						
									三九、一〇						
前九時三十分山川寄港全十一時五十分全地發后四時鹿兒島歸着	后〇時五十分鹿兒島發全五時三十分山川入港	山川滞在	前十時三十分出漁正午四方荒風ニテ波浪高キ爲メ后四時山川引キ返ス	前九時山川發	后七時熊野入港	前八時出漁針路東、正午十時ニシテ天候不良ノ爲メ揚繩ニ着手シ后七時熊野ニ歸港	前八時出漁針路南西、前十一時ヨリ西風強ク降雨トナリタレバ后三時屋久島南岸ニ錨泊	荒天休泊	前九時出漁、后〇時十分投網后六時揚繩全九時終漁熊野ニ向フ	前一時ヨリ全四時マテ漂流六時漸ヤク島影ヲ認メ全七時四十分熊野入港	前七時發	后六時山川着	前四時山川發	全一時鹿兒島着漁獲物賣却	鹿兒島滞在

六四

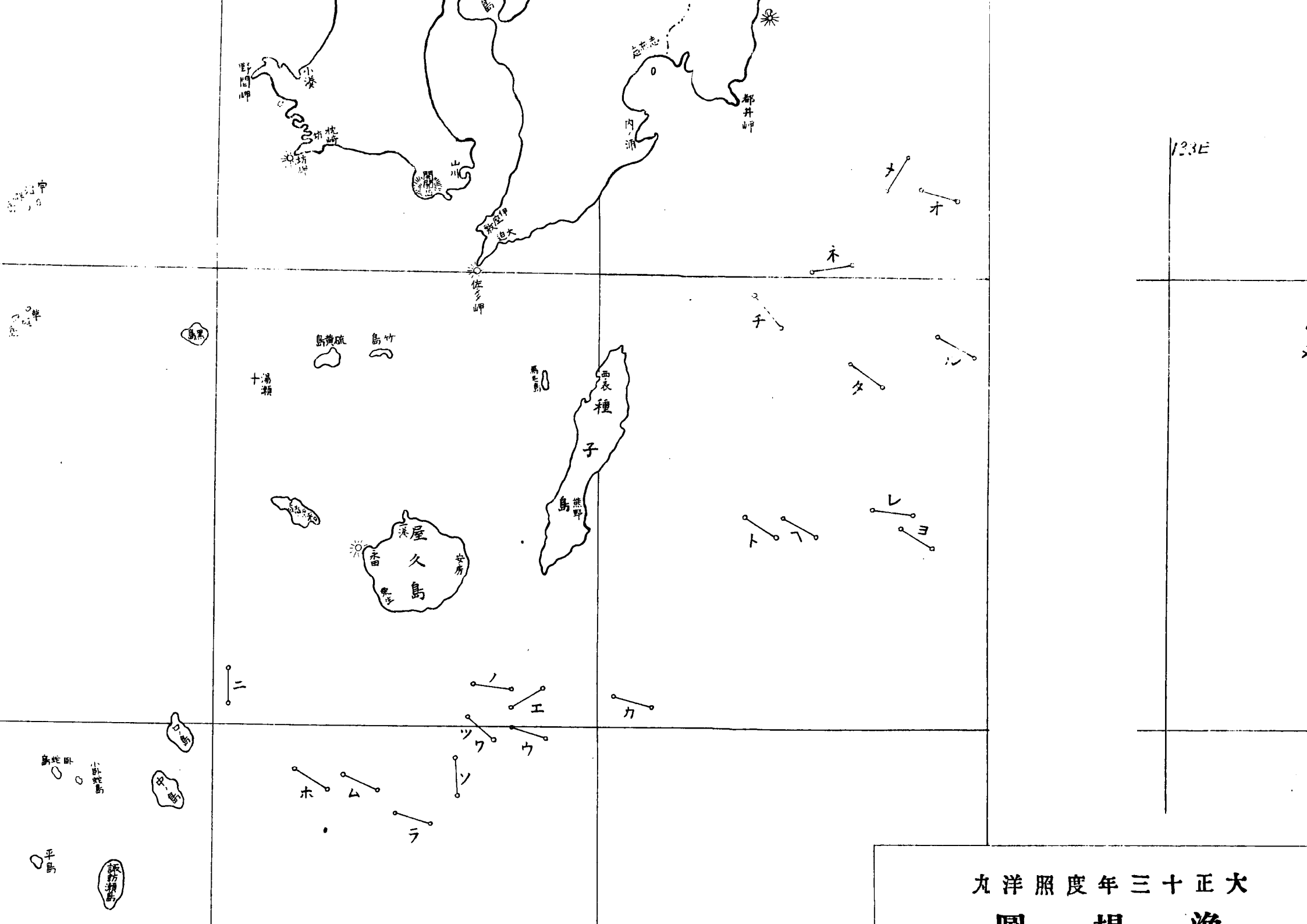
摘

[illegible]

[illegible]

宮崎縣大分縣ヨリ種子島ニ出漁セルモノ本月ニ入りテ極メテ少カリキ、本縣内船ノ出漁セルモノ二十隻ニシテ去月下旬試験船照洋丸ガ屋久島南方四十哩ノ海區ニテ漁事アリシヨリ其後續々同新漁場ニ出漁シ最高六千圓位ノ漁獲ヲ擧ゲタルモノアリ活況ヲ呈セリ、種子島既知漁場ニテハ依然不漁ニ終レリ

[illegible]



照洋丸ノ改造工事

本縣鯉漁業ノ將來ヲトシ西洋形漁船ノ推奨ヲ適切ナラシムル爲メ照洋丸ニ依リ實際ニ付キ之レガ利便ヲ提示シタル結果船体動搖多キト乾舷ノ低キトハ鯉漁船トシテ最モ不適當ナルヲ認メタリ

本船滿載狀態ニ於ケル乾舷ノ最小限ハ船体中央部ニ於テ九吋乃至十吋ニシテ爲メニ船尾機關室兩舷ニ設ケタル甲板上排水孔ハ些細ナル傾斜及波浪ニ對シテスラ常ニ海水中ニ浸入シ甲板上ニ海水ヲ誘導スルノミナラズ打チ込ミ來ル海水ノ排除ニ當リ適當ノ効果ヲ表ハシ難ク漸次打込波ノ増加ニ從ヒ海水ロードニ依ル船体ノ沈降ヲ増スノ狀態ニシテ常時操作ノ不便ハ勿論荒天ニ際シ安全ナル航海ヲ期シ難ク加フルニ本漁業ノ如ク甲板上多數ノ漁夫ヲ起居セシムルモノニアリテハ不便多キモノトス、次ニ動搖強キ時ハ前記漁夫ノ休養ヲ得難キノミナラズ漁撈ニ際シ操作ノ不安定甚ダシク漁獲ニ不利ナルノミナラズ漁獲物ノ處理ニモ不都合多キモノナリ、以上缺點ヲ補フ爲メニ「ローリングダチョック」ヲ設ケテ動搖ヲ少クシ低船尾樓ヲ設ケテ乾舷ノ増加ヲ計ルコトヲ主眼トシ其ノ他僅少ナル補修ヲ施行セリ其ノ要領左ノ如シ

一、「ローリングダチョック」トシテ灣曲部ニ6 $\frac{1}{2}$ ×3 $\frac{1}{2}$ 球山形材ヲ以テ船長ノ3 $\frac{1}{5}$ 間ノ兩舷ニ設ク

二、肋骨第十七番(甲板部操舵室前緣)ヨリ船尾上甲板全部ノ高サハ壹呎六吋增高シ低船尾樓甲板トシ操舵室ハ在來ノ儘トシ機關室周壁及ビ出入口賄室及船尾室入口ハ上甲板ニツレ壹呎六吋高所ニ移動セシメ船尾室上周壁及ビ天窓ハ全部取外シ此ノ部分ニハ甲板ヲ張り詰メ前記天窓ヲ甲板上ニ取り付ク

三、氷庫口ヲ約縱橫六吋擴大シ楕圓形ニ改メ鐵蓋ヲ以テ上部ヲ嚴密ニ「ポート」止メニ改ム

四、漁具庫口 普通「マンホール」ヲ廢シ徑十五吋ノモノヲ十七吋徑ニ改メ水防用撚止メ式マンホールニ改ムルコトニ

ヶ所

六八

五、活魚艙口 周圍ニ半圓圓緣鐵材ヲ取付ケ上面ヲ平坦ニ改ム

六、揚錨機 在來ノモノハ脆弱ナリシ爲メ更ニ強大精巧ナルモノニ改ム

七、兩帆檣 在來ノモノヲ主檣長四三呎徑八吋後檣長(キール、ヨリ)四一呎徑六吋三分ニ改メ附屬各圓材及金具ヲ適當ノモノニ改ム

八、船尾甲板上ニアリシ淡水槽ヲ機關室内ニ移シバイブ裝置付キ「ポンプ」ヲ船尾室入出入ニ設ク

九、後部活魚槽内ヲ四區劃スル様區劃裝置用鐵溝ヲ設ク

十、カレー兩舷入口及機關室入口戸ニ密閉緣ヲ附ス

十一、船首尾兩天窓ニ鐵材ヲ以テ水防裝置ヲ附ス

十二、操舵室内スタアリングギヤールヲ六吋低ク改ム

十三、船尾室後部ストアー甲板上ニマンホール一組ヲ設ケ同甲板上及機關室兩舷甲板上ニ「デツキグラス」合計四個ヲ設ク

十四、船首室梯子ヲ三吋狹ク改ム

十五、機關室内チエンブローク掛鐵鉗ヲ強大ナルモノト取換フ

十六、竈焚口ニ鐵製蓋ヲ設ク

十七、ガングウエーヨリ低船尾樓ニ於ケルプルワークノ高サ三〇吋トシ全部鐵製ニ改ム

以上補修工事ノタメ照洋九ハ十三年一月十一日出帆十五日三重縣鳥羽造船所着三十日ヨリ工事ニ着手シ三月十日工事終了同十六日鳥羽發二十日鹿兒島港歸着セリ

改造結果

本年鯉漁業試験ノ項ニモ記セル如ク船体ノ動搖ヲ減シ操作上著ルシク便宜ヲ増スニ至レリ猶此改造ノ
前后ニ亘リ農商務省ヨリ技師堀江武夫氏ノ派遣ヲ求メ船体動搖ノ試験ヲ爲セル成績報告左ノ如シ

本船改造ノ目的ハ主トシテ動搖ヲ輕減スルコト、船尾吃水ヲ適當ナラシムルコトノ二点ニ在ルカニヘ改造前動搖狀
態ヲ調査スルコト、セリ

動搖試験ハ之ヲ二方面ヨリ行ヒ一ハ簡易ナル動搖自記裝置ニ依リテ遞減曲線ヲ畫キ一ハ目測ニ依リテ動搖ノ周期ヲ
測定スル方法ヲ採レリ、動搖ヲ起サシムル裝置トシテハ「デリック」ニ傳馬ヲ吊シテ之ニ依テ船ヲ一方ニ傾斜セシ
メ瞬時的ニ之ヲ落下セシムル方法ヲ採レリ其ノ結果動搖周期平均五、二三秒動搖回数四十餘回ト記錄セラレタリ
次ニ船ノ運航中ニ於ケル動搖ヲ試験スル爲メニ沖合ニ出帆セシガ恰モ海上和キテ波ナク充分ナル効果ヲ收ムルコト
能ハザリシガ本試験ノ結果モ周期ニ於テ前記ノモノト同一ナルコトヲ知リタリ

右本試験ノ結果ヲ表示スレハ左ノ如シ

最初ノ傾斜角度

五、三二五

周期

五、二三秒

動搖低減係數

〇、九五三

次ニ船尾吃水ニ付キテハ乗組員ノ言ニ依レバ乾舷甚ダ小ニシテ航行中ニ於テハ常ニ其ノ部分海水ニ浸リ排水口モ其
ノ用ヲ爲サズト本件ハ實地其ノ狀況ヲ確ムルノ機會ナカリシカ其ノ浮揚狀態ニヨリ見テ其ノ事實ナルベキヲ認メタ
リ

以上調査ノ結果トシテ左記改造工事ヲ適當ト認メタリ

一、「ビルヂキール」ヲ附スルコト

二、低船尾樓ヲ設クルコト

改造後ノ成績「ビルヂキール」取付後ノ動搖狀態ヲ調査スルニ前記ト同様ノ方法ニ依リテ動搖試驗ヲ施行セル結果動

搖周期五、五六秒動搖回数八回ト記録セラレタリ

右本試験ノ結果ヲ表示スレバ左ノ如シ

最初ノ傾斜角度

四、九〇度

周期

五、五六秒

動搖遞減係數

〇、八四〇

之ニ依テ見レバ本船ノ動搖ハ著シク輕減シタルモノト言フコトヲ得ヘシ、最初本船ノ傾斜試驗ニ依リテGMノ高サ一、八四呎ナルコトヲ知リタリシカ右本船ノ低船尾樓工事ノ結果GMノ高サ一、八〇呎トナリ改造前ニ比シ稍重心ノ上昇ヲ招致シタレ共其ノ差僅少ニシテ殆ンド云フニ足ラズ然カモ船尾部乾舷増加シテ豫期ノ如キ結果ヲ得タリ以上ノ外附帶工事トシテ舵ノ面積ヲ増加シテ操舵能力ノ不足ヲ補ヒタル等局部的ニ改善セル点二三アリ

小型發動船漁業試験

一、鯖釣漁業試験

試験趣旨

小型漁船ニ發動機ヲ据付ケ漁業能率ヲ向上スルタメ大正四年以來縣下南方海面ニ於ケル鯖釣漁業ニ應用シテヨリ逐年成績舉リ民間企業者續出シ沖合鯖漁場ハ總テ十二乃至二十五馬力程度ノ發動船ヲ用フルニ至リ本漁業ノ伸展ヲ見ツ、アリ本場ハ之カ助長ヲ爲スヲ目的トシ試験ヲ續行セリ

經過成績

試驗船ハ松島丸(肩巾十尺十二馬力)ニ漁夫十名機關部員二名外主任者ヲ合セ十三名乗組三月五日梅吉會根ニ初漁シ六百二十七日迄從漁日數百十九日出漁回數五十二回歸二萬二千二百四十一斤價格壹千七百六十二圓八十七錢ヲ得前年同期ニ比シ尾數ニ於テ壹萬三千九百六十二尾價格壹千六百六十三圓三十六錢ヲ減セリ

本年ノ漁況ハ梅吉會根ハ三月ヨリ五月上旬ニ亘リ好漁就中四月中旬以後暖流ノ勢力強マルニ從ヒ漁況活潑トナリ五月最盛期ニ入り三方會根ハ五月中旬ヨリ六月上旬好漁屋久會根ハ六月以降漁況活潑トナリシモ前年ニ比シ漁期短カリシタメ一般漁況ハ前年ニ比シ薄漁ナリシ

此間試驗船ハ新漁場トシテ中會根ニ四月二十三日一回試漁シタルモ荒天ニ會シ漁獲スルヲ得ス猶本船ハ船体老齡トナリ遠航困難ナル場合多ク爲ニ續行スルニ至ラザリシ

鯖漁業ニ關スル資料

本試驗中鯖漁業ト海水其他ノ關係ヲ知ルヘキ資料ヲ得ントシ常ニ漁業ト共ニ調査ヲ爲シツ、アリテ本年ニ於テ實驗セル事項左ノ如シ

鯖漁ト水温

三月ヨリ六月迄試驗期間中漁場表面水温次ノ如シ

三月	十七度三—十九度二
四月	十八度—二十二度六
五月	二十度—二十二度六
六月	二十二度—二十六度

全漁期ヲ通スレハ鯖漁獲時ノ水温ハ十七度三乃至二十六度ニシテ前年同期ニ比スレハ三月上旬迄ハ水温低ク以后上昇セルモ六月下旬迄ハ終ニ及ハス一般ニ本年漁況ノ衰ヘタルハ之ニ歸スルモノナリ蓋シ水温ノ低下ハ暖流ノ勢力弱キタメ漁礁上ノ潮流不定ヲ見ルモノニシテ試驗期間中屢々魚体ノ釣糸ニ觸レ附近鯖群アルヲ知ルニ拘ハラズ釣獲

シ難カリシ如キハ潮流不整ナリシ結果ナリ

漁獲鯖ノ雌雄

毎航漁獲シタル鯖ノ一部ヲ材料トシ雌雄及精卵ノ熟否ヲ調査セルモノハ次ノ如ク卵精ノ熟シタルヲ見タルハ三月中旬ヨリ四月中旬迄ナルモ雌雄ノ割合ハ三月中ハ雌魚多ク四月ヨリ五月中ハ十五回中三回雌魚ノ多カリシコトアルモ其他ハ總ヘテ雄魚多ク六月八日再ヒ雌魚ノ割合多クナレリ

漁獲鯖ノ雌雄調査

月 日	漁 場	調 査 尾 數	雄 魚	雌 魚	附 記
三月 八 日	梅吉曾根	一三	一	一三	雌ハ成熟セルモノ多シ
全 十 一 日	屋久曾根	五	一	四	雌ハ成熟セルモノ一尾アリ
全 十 五 日	梅吉曾根	一四	一	一三	雌雄共成熟セルモノ多シ
全 十 九 日	全	一〇	二	八	雄ハ熱セルモノ五尾雌ハ總テ成熟セリ
全 二 十 日	全	一〇	三	七	成熟セリ
全 二 十 八 日	全	一二	五	七	雄ハ總テ成熟セリ
全 三 十 一 日	全	九	六	三	雌ハ過熱セリ
四月 五 日	全	一〇	一〇	四	
全 八 日	全	一三	九	二	
全 十 九 日	全	一三	一	二	
全 二 十 一 日	全	一〇	八	二	
全 二 十 七 日	全	一〇	一〇	一	
全 二 十 八 日	全	一〇	九	一	
五月 二 日	全	一一	二	一	

漁獲鯖中ノ一部ヲ取り大中小ニ別チ測定シタルモノ次ノ如ク前年ニ比シ稍ヤ大形ナリシヲ見ル

小型發動船漁業試驗

七三

大正十二年試漁中採集セシモノ、檢鏡セルモノヲ左ニ掲ク

鯖	漁	場	梅	吉	會	根	三	方	會	根
採集月日			4.14	4.21		4.29	5.4		5.7	
Radiolaria						+				
Zoea				+					+	
Schizopoda				+					o	

全 全
前十時山川ヨリ出漁シタルモ外海方面風浪高キ爲メ
途中ヨリ引返シ后三時三十分山川入泊
荒天休泊
同 船底掃除ヲ行フ
全
前八時十分山川發后六時三十分梅吉曾根着從漁、千潮
時ヨリ漁獲ヲ増ス
前四時三十分終漁全八時三十分永田着漁獲物陸上ゲテ
ナス全十時永田發后〇時三十分口永良部着荒天休泊
荒天口永良部休泊
前八時口永良部ヨリ一湊ニ向ヒ消耗品補給ノ上后六時
四十分一湊發全七時三十分屋久曾根着從漁、風浪高ク
潮流急ナリ
前〇時三十分終漁荒天ノ爲メ山川ニ向フ
同七時山川入港
荒天山川休泊
同
前九時三十分山川出帆后五時梅吉曾根着從漁セシモ漁
獲十數尾ニ過ギス寒氣強シ
前一時三十分終漁同四時口永良部入港后四時三十分
同地發同七時五分梅吉曾根着從漁同十時五分終漁、漁
獲ナシ漁夫急病者アリ
前八時十五分山川入港病漁夫下船
船休修理ノ爲メ休泊
前八時五十七分山川發后四時五十五分梅吉曾根着從漁
爲付鰯大群ヲ見ル、潮流極メテ急ニシテ漁況攪ハス

四月一日	月日
二日	日
	風天
	力候
	符號
	漁具使用
	水面海
	水溫度
	方向
	潮流
	速度
	種類
	餌料ノ
	ノ漁獲時
	水深
	種類
	數量
	價額
前二時三十分口永其部入泊 荒天口永其部休泊	摘要

計	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅日	卅一日
	曇			雨				雨			雨
	四東			北東				北東			北東
	全			全				全			三梅吉
	至 后 11	自 后 40,50		至 前 7	自 后 25			至 前 7	自 后 10		至 后 11
	二、三			二、三				二、三			二、三
	北			東				西			東
	四			急				緩			急
	緩			ウ				ル			ル
	全			メ				メ			メ
	サ			サ				サ			サ
	バ			バ				バ			バ
	四			一、二				五、六			四、五
	三、三〇			七、九〇				三、六〇			三、三〇
	前 五時十五分終漁 同七時二十分梅吉曾根從漁 爲メ同十一時三十分終漁			前 三時十分口永其部ヨリ出漁 同六時五十分梅吉曾根從漁				前 八時四十六分山川ヨリ出漁 後七時十分梅吉曾根從漁 風源高シ			前 五時十五分終漁 同七時二十分梅吉曾根從漁 爲メ同十一時三十分終漁
	荒天休泊			荒天休泊				荒天休泊			荒天休泊
	全			全				全			全
	前二時三十分口永其部入泊 荒天口永其部休泊			前七時二十五分終漁 荒天ノ爲メ后三時五十分山川入港 荒天山川休泊				前六時二十分終漁 全八時四十分口永其部入港 後後荒天ノ爲メ山川へ向フ后十時三十分山川入泊 荒天山川休泊			前五時十五分終漁 同七時二十分梅吉曾根從漁 爲メ同十一時三十分終漁

五月一日	月日	風天	力候	符號	漁場	時流	具使用	水面	潮流	流速	餌料	種類	水深	種類	數量	價額	摘	要
二日雨	二日雨	南西	梅吉	自后	至前	7 ²⁰ 4 ⁰⁰	三、三北西	緩	明	メレクチ	サ	バ	六四	五五、〇〇〇	前九時十五分山川ヨリ出漁后五時梅吉曾根着從漁降雨風浪アリ	前四時終漁全十一時三十分島泊入港后五時十分同地ヨリ出漁同七時三十分方曾根從漁		
三日雨	三日雨	〇	三方	自后	至前	7 ²⁰ 4 ⁰⁰	三、三北西	緩										

四月廿一日曇	廿二日	廿三日曇	廿四日	廿五日	廿六日曇	廿七日晴	廿八日晴	廿九日雨	三十日	計
南東	南東	南東	南東	南東	北東	北東	北東	南西	南西	南西
梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉	梅吉
自后	自前	自后	自后	自后	自后	自后	自后	自后	自后	自后
7 ²⁰	6 ⁰⁰	18 ⁰⁰ 8 ⁰⁰	6 ⁰⁰	6 ⁰⁰	7 ³⁰ 6 ¹⁰	7 ¹⁵ 5 ¹⁰	7 ⁰⁰ 5 ⁰⁰	7 ⁰⁰ 5 ⁰⁰	0 ¹⁵	0 ¹⁵
三、四東	三、六北東	三、六北東	三、〇西	三、〇西	三、〇西	三、〇西	三、〇西	三、〇西	三、〇西	三、〇西
急	急	急	急	急	急	急	急	急	急	急
メレクチ	メレクチ	メレクチ	メレクチ	メレクチ	メレクチ	メレクチ	メレクチ	メレクチ	メレクチ	メレクチ
サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ
ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ	ロ
六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三
五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇	五五、九〇〇
后五時十五分口永其部ヨリ出漁同七時三十分梅吉曾根從漁漁獲物ニ鯉鱈ヲ混ズ	前六時終漁后三時十分山川入港漁獲物賣却	前九時三十分山川發后八時中瀬ニ從漁セシメ風浪高ク作業困難ナル爲メ十二時終漁	前八時山川入港	荒天山川休泊	前八時三十分山川ヨリ出漁后六時梅吉曾根從漁二千斤乃至三千斤ノ大漁ヲナセル船三、四隻アリ	前六時十分終漁全八時十五分口永其部入港后五時十分口永其部ヨリ出漁全七時三十分梅吉曾根從漁赤鯉ヲ混シ前日同様好漁ナリ	前五時十五分終漁全八時口永其部入港后四時三十五分全地ヨリ出漁同七時十五分梅吉曾根從漁、漁况最モ其好ナリ	前五時終漁全八時水田着后〇時四十五分同地ヨリ出漁同三時梅吉曾根着港泊同七時ヨリ從漁風浪高ク漁况不振	前〇時十五分漁獲ナキ爲メ終漁同七時五十分山川入港	荒天山川休泊

五月四日 曇	五日 雨	六日 雨	七日 雨	八日 晴	九日 曇	十日 曇	十一日 曇	十二日 曇	十三日	十四日 雨	十五日	十六日 曇	十七日 曇	十八日 曇	十九日 雨	廿日 雨		
二西 梅吉	二東	二東	四西	三西	三北	二南	全	四東 竹島	三南	三南		三北 三方	二北	二東	四南			
至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40	至前 自后 30, 40		
三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六	三、六		
北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西	北西		
緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩		
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全		
サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ		
一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六	一、四、五、六		
三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇	三、〇、〇、〇		
前五時四十分終漁、漁獲ナキ爲メ梅吉曾根ニ向フ、后一時四十分梅吉曾根着同六時三十分從漁	前五時三十分梅漁同九時二十分永田着后〇時三十分全地發全九時山川入港	荒天休泊	荒天休泊	全	全	前九時二十分山川ヨリ出漁后五時三十分梅吉曾根着從漁水色濁瀾低溫ニシテ漁獲少シ	前五時二十分漁終全八時口永其部入港后四時三十分全地ヨリ出漁全七時廿分梅吉曾根着從漁海況前日ニ同シ	前一時三十分風浪アリ流況不振ノ爲メ終漁同九時三十分山川着	后一時五十分山川ヨリ出漁同六時五十分竹島曾根從漁同八時四十分漁獲ナキ爲メ終漁同九時四十分竹島着泊	北東風強シ	前七時三十分竹島發正午口永其部ニ入泊	荒天口永其部休泊	前九時二十五分漁夫病氣及監督主任交替ノ爲メ口永其部發后七時山川入港	后三時十五分山川ヨリ出漁同七時三十分曾根着從漁全五時時頃ヨリ餌付不長トナル	前〇時三十分終漁全五時十分山川入港后三時十分山川ヨリ出漁全六時二十五分曾根着從漁	前〇時四十分終漁全二時三十分大泊着后四時四十分同地ヨリ出漁全五時十五分曾根着從漁漁況不振	前四時終漁同七時四十五分山川着	翌天山川休泊

小型發動船漁業試験

月	日	風天	力候	符號	漁場	時	漁具使用	水面	海潮	流	速度	種類	餌料ノ	漁獲時	種類	漁獲	物	摘	要
六月	一日	晴	北東	二三四	三方	自后	10	三、四	緩	タレクチ								荒天船底掃除ノ爲メ休泊	
二日	雨	北東	二三四	三方	自后	10	8	三、四	緩	タレクチ								后三時四十分山川ヨリ出漁全八時十分三方曾根從漁	

計	廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅一日	卅二日	卅三日	卅四日	卅五日	卅六日	卅七日	卅八日	卅九日	卅日	卅一日
	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東	北東
	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前	至前
	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四	三、四
	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩
	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ	サ
	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二
	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇	五、七、〇
	后三時山川ヨリ出漁同七時二十分三方曾根着從漁	前〇時十五分終漁同二時四十分島泊着后五時三十分同地ヨリ出漁同七時五十分三方曾根着從漁	前二時頃干潮時トナリ俄然餌付良好全四時三十分終漁同八時十五分山川着后三時三十分山川ヨリ出漁同七時三十分三方曾根着從漁	前二時十五分終漁全六時三十分山川着荒天休泊	荒天山川休泊	后三時三十分山川ヨリ出漁同七時十五分三方曾根着從漁	前四時五十分終漁同六時二十分間泊着后五時三十分同地ヨリ出漁同七時三十分曾根着從漁	前一時終漁全三時三十分大濁着同九時同地發全十一時四十分山川着休泊	后三時三十五分山川ヨリ出漁同七時十分三方流根從漁	前四時十五分終漁同六時三十分島泊着同十時四十分山川着后四時五十分山川ヨリ出漁同八時十分三方曾根從漁	前四時十分終漁同六時島泊着后五時十分全地ヨリ出漁セルモ風浪高キタメ全八時三十分山川入泊									

十八日	十九日晴	廿一日雨	廿二日雨	廿三日雲	廿四日雨	廿五日雨	廿六日	廿七日	累計
東三方	北東	北東	南四	南四	南四	南四			
自后 8 ⁰⁰	至前 4 ⁰⁰				自后 8 ⁰⁰	至前 4 ⁰⁰			
二六、〇東					二六、〇東				
緩マレクナ					緩				
					全				
サ	サ			サ					
ハ	ハ			ハ					
四、〇〇	四、〇〇			六、五九					
同	后三時十分山川ヨリ出漁同八時三方會根着從漁	前四時終漁同六時島泊着午後荒天トナリタレハ后五時同地發同六時四十五分山川入泊	荒天山川休泊	同	同	前九時山川發后四時三十分一湊着同六時五十分同地ヨリ出漁全八時屋久會根從漁	前四時終漁同六時五分永田着荒天ノ爲メ同八時永田發后五時四十分島泊寄港同七時十分山川着泊	船休修繕及び次期試験事業準備ノ爲メ本年度試験終了ヲ告グ	前九時山川發后一時三十分鹿兒島歸着本試験ヲ終ル

二、秋太郎(旗魚)延繩漁業試験

試験趣旨

從來帆船ニテ長崎縣下五島方面ニ出漁シタルモ本場小型發動船松島丸ニヨリ連年試験ヲ續行シタル結果出漁船ノ全部ハ此ニ倣ヒ企業シ約百二十余ノ從漁船ヲ見更ニ同方面ヨリ朝鮮濟州島南海ニ出漁シツツアルモ本場試

小型發動船漁業試験

驗船ノ程度ニテハ遠航困難ナル爲メ前年度ヨリハ縣下南海ノ漁場ニ轉ジ試驗ヲ續行セリ

試驗經過

縣内ニ於ケル旗魚漁業ハ從來鹿兒島灣内ハ流網漁法ニヨリ其他外海ニ於テハ延繩漁法行ハルモ近年ハ縣外出漁ヲ主トシ却ツテ閑却セルノ觀アリ近ク一兩年前ヨリ小型發動機漁船ニヨリ企業スルモノアリ從漁船小數ナルモ相當漁獲ヲ見ルニ至リタレバ漁場ノ狀態及範圍ノ究明ト同時ニ流網漁法ヲ應用セントシ昨年終漁期ニ際シ流網ノ構成ヲ終リタルモ僅カニ一回ノミニテ試用ノ機會ナク終漁ヲ告ゲタルヲ以テ本年ハ初期恰モ鹿兒島灣内方面流網漁期ト前後シテ早期ニ試驗スルコトニシ八月十一日試驗船松島丸ニ漁夫十一名主任者一名乗組ミ山川港ニテ出漁準備ニ着手シタルモ當時荒天拾數日ニ及ビ漸ク同月二十七日梅吉曾根ニ初漁シタルモ得ル處ナク引キ續キ九月十一日迄梅吉曾根ヨリ津倉島ニ至ル間ニテ七回出漁シタルモ漁獲スルヲ得ズ更ニ使用網ノ増加ヲ計劃シ百八十尋ヲ増シ總長六百參拾尋トシ九月二十日以後月末迄ニ梅吉曾根附近ニテ三回使用シタルモ同様漁獲スル處ナカリキ十月以降ハ延繩漁法ニ移リ試驗シ十二月十日迄從漁期間七十日出漁回數十二回旗魚二十四尾鱸其ノ他七尾價格千百六十六圓余ヲ獲前年ニ比シ四百圓余ヲ增收セリ

試驗成績

前記試驗ノ結果ニ依ル時ハ流網試驗期間ハ外洋ニ於ケル暖流ノ勢力尙強ク海水清澄ニシテ漁具ノ浮上甚ダシク表面ニ滑流スルノ傾向アリタレバ九月二十日以後ハ更ニ使用總量ヲ増加シ浮標網ヲ延長シ漁具ヲ十尋以下ニ沈下流下セシメタルニ魚礁ニ依リ海流錯亂セラレ二重潮又ハ上向流ノ發達ニヨリ網具ノ纏絡甚ダシク使用不能ノ場合多ク遂ニ漁獲ヲ見ザリシ、察スルニ前年來試驗セル漁場範圍ニ於テハ表面流速迅速ニシテ加フルニ魚礁島嶼ノ介在ニヨリ潮流甚ダシク不規則トナリ流網ノ使用トシテハ好適ナラザルガ如ク率ニ延繩漁法ニ依ルノ適當ナルヲ認メ爾後延繩漁法ニヨリ試驗シ專ラ好漁場ノ撰擇ニ任ジタル結果ハ梅吉曾根附近ニ於テ漁獲良好ナルヲ見タリ

猶薩南七島海面ニ於ケル旗魚漁場トシテハ屋久島以南橫當島ニ至ル列島ノ西方海面ニ魚群ヲ認ムルコトヨリ推セバ本

漁場ノ範圍トシテハ稍廣汎ナル區域ニ亘ルモノト思量セラレ、モ試驗船松島丸ノ程度ニテハ企畫困難ナルタメ遂行スルヲ得サリシ

漁業表

(大正十三年度 松島丸)

旗魚漁業

月日	天候	漁場符號	漁具使用	水面海水溫度	潮流海流方向速度	餌料ノ種類	漁獲種類	獲數量	價額	摘 要
八月十一日										后〇時一五分旗魚流網試驗開始ノ爲メ鹿兒島出帆同五時二〇分山川入港
自 十二日										山川ニテ流網ノ修繕ヲナス
至 十三日										荒天山川休泊
廿五日										前八時二〇分山川ヨリ出漁屋久曾根ニ向ヒシモ西風強吹シ來リタルタメ后二時二〇分西表ヘ避泊
廿六日										前九時三〇分西表ヨリ出漁后六時五〇分梅吉曾根着從漁后十一時潮流南西トナル
廿七日 晴	二四	イ		二七、四	北東急					前五時三〇分揚網着手同六時一〇分終漁后五時三〇分黒島漁場ニテ投網同一〇時一五分西南ノ荒天トナリ揚網同
廿八日 曇	南二	ロ		二七、五	同 緩					一、一時終漁ト共ニ山川ニ向フ
廿九日 雨	南二	ハ		二七、〇	東 急					途中天候恢復ノ爲メ黒島ニテ淡水積取り后六時津倉島漁場ニテ從漁
卅日										前六時揚網着手同六時四〇分終漁荒天ノ爲メ同九時一五分泊灣避泊
卅一日										前八時三〇分泊浦發后一晝五分山川入港荒天模様ノ爲メ休泊
計										

[illegible]

廿一日	廿二日	廿三日	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅一日	計	十一月一日	二日	三日	四日
	北東 二カ				北東 二カ			北東 三カ					北西 三カ	北 二カ
					ハ								レ	ソ
	二六、八 NE				二四、七 N			二四、三 NE					二四、〇 N	二三、八 W
	急サ				急			急					急	急
	バカシ キ				全			全					全	カシ キ フカ シ カ キ
	一 二六、七〇〇				三 二六、七〇〇			一 二八、〇〇〇					一 二六、六〇〇	二 二六、六〇〇
前一〇時山川發后五時三〇分屋久曾根着餌鰯釣ナナス 前一時屋久曾根發同六時四〇分梅吉曾根ニテ從流后三時 三〇分終流同七時屋久曾根着餌鰯釣ナナス流獲恩ハシカ ラズ 前三時北西風強吹シ來ル同五時屋久曾根發同九時口永良 部人泊 北西ノ強風ニテ口永良部休泊 后五時五〇分口永良部發同九時屋久曾根ニテ餌鰯釣ナナ ス 前二時屋久曾根發同八時一〇分梅吉曾根着從流后三時 四五分終流歸港 前三時四五分鹿兒島入港漁獲物賣却 后三時四〇分鹿兒島發同七時二〇分山川入港 荒天山川休泊 船底掃除ナナス 前一時山川發后六時三〇分梅吉曾根着餌鰯釣ナナス 前六時梅吉曾根ニテ投錨后四時終流販港 前五時鹿兒島入港漁獲物賣却正午同上發后四時山川入港 荒天山川休泊 前一〇時山川發后六時梅吉新曾根着餌鰯釣ナナス 前六時梅吉曾根從流后五時終流餌釣ノ爲ノ漂流 前三時餌鰯發同八時二〇分東新曾根着從流后六時終流 歸港														

九一

[illegible]

三、瀬魚延繩漁業試驗

九二

試驗趣旨

小型發動機漁船ヲ應用シテ沖合島嶼ノ底礁ニ棲息スル鰯赤鰯等ノ漁獲ヲ目的トシ從來着手セルモノニシテ近年民間同種漁船ノ從漁スルモノ増加セル爲メ昨年來口ノ島附近ニ新漁場ヲ求メントシ本年モ引キ續キ試驗セリ

試驗方法

前年來試驗セル漁具使用方法ハ底礁ノ位置形狀等ノ推知シ得ラレタルモノヲ主トシ延繩ヲ底着セシメテ漁獲セルモ沖合新礁ニ於テ殊ニ潮流急ナル漁場ニ於テハ延繩切斷ノ恐れ多キヲ以テ漁具ハ底礁上四五尋以内ノ範圍ヲ流過セシムル方法ニ依ルトキハ魚礁ノ撰定容易ニシテ却テ漁獲能率良好ナル場合多キヲ以テ本年度ニ於テハ沖合新魚礁ノ試驗ニハ專ラ此ノ方法ニヨレリ

漁具ハ從來瀬物延繩トシテ一鉢重量壹貫五百二十匁ノ麻糸ナルモ底礁上流過ノモノハ水ノ抵抗ヲ減ジ流過ノ速度ヲ緩和スル爲メ細糸トシ一鉢重量五百六十匁ノ麻糸ヲ用フ即チ一鉢分ノ構造ハ幹繩貳百四拾尋（一尋二匁三分）枝系長參尋（壹尋壹匁八分）枝系間隔六尋トシ一鉢四十本附浮標網ハ幹繩同様ノモノニテ長サハ垂下ノ範圍ニ依リ適宜トス釣鈎ハ從來使用ノモノヲ充當セリ

試驗經過成績

試驗船松島丸ハ機關部三名甲板部七名外ニ主任者一名乗組十三年十月十三日鹿兒島港ヲ發シ山川ニテ前記漁具ノ構成拾五鉢分ヲ完了シ同月二十一日硫黃島附近ニ漁業シ引キ續キ二十三日迄同漁場ニ從漁シ同月二十五日船体垢水ノ漏洩甚ダシキ爲メ修理ノ必要アリ鹿兒島港ニ月末迄滞在シ一月ニ入り上旬ハ餌料ノ漁獲困難ナルタメ出漁ノ期會ナク同月十日口ノ島西方珊瑚會根ニ遠航從漁シタルモ潮流急速ニシテ小形瀬物數尾ヲ漁獲シタルニ會々荒天トナリ充分ナル試漁ヲ得ズシテ引揚ゲ越エテ十三日上ノ瀬（によん）ニ出漁シタルモ天候不良ニシテ魚礁ノ確定困

十九日 曇	廿日	廿一日 曇	廿二日 曇	廿三日 曇	廿四日	廿五日	廿六日	廿七日	廿八日	廿九日	卅一日	計	二月一日	二日	三日	四日	五日	六日
一南	北東	北西	北東	北東														
イ	ロ	ハ																
自AM ₅ ³⁰	自AM ₈ ³⁵	至PM ₅ ¹⁵	至PM ₃ ⁰⁰															
4 鉢	12	4																
二〇〇東	二〇二全	二九七北																
緩小	全	急																
鯖	全	全																
アカバラ	マッダイ	其ノ他	アカバラ															
二五	二二	二二	二二	二八														
二九、三〇																		
正午山川發途中荒天ノ爲メ后五時大泊ニ避泊	荒天大泊休泊	前九時大泊ヨリ出漁后五時三〇分硫黄島南東側ニテ從漁	前五時三〇分硫黄島發前日ノ漁場ニテ從漁后五時一五分終漁同五時五〇分同島泊	前七時三〇分硫黄島發前日漁場ニテ從漁后〇、三〇分終漁同七時山川入港	正午山川發后五時鹿兒島歸着	船体修繕ノ爲メ鹿兒島滞在	同	同	同	后一時鹿兒島發同六時一五十分山川着泊	荒天山川ニテ船底掃除ヲナス	后〇、二分山川發餌柔魚漁獲ノ爲メ同六時泊浦入泊	荒天泊浦休泊	同	后五漁泊浦發坊岬ニテ柔魚釣ヲナス不漁	前四時柔魚漁場着同五時一〇分枕崎入泊	荒天枕崎休泊	后五時一〇分枕崎港外ニテ柔魚釣ヲナス

合 計	五 日	四 日 雨	三 日 曇	二 日	一 日	計	廿 一 日	廿 二 日	廿 三 日 曇	廿 四 日	廿 五 日 曇
		三東	北 三東						一北		北 二四
		ス	リ	チ					ト		ハ
		自AM ₈ ⁴⁰ 至全 ₁₁ ⁰⁰	自PM ₄ ⁰⁰ 至全 ₈ ³⁰	自AM ₈ ⁰⁰ 至全 ₁₀ ⁰⁰					自AM ₉ ³⁵ 至PM ₄ ⁰⁰		自AM ₉ ⁴⁰ 至PM ₃ ³⁰
		4	8	4					8		8
		元〇東	元〇東	元五北東急					元〇北東緩		三〇七北東急イロシ
		全	全	全					全		
其ア	ア	ア	其ア	マツダイ					其マツダイ	アカバラ	アカバラ
他ラ	ラ	ラ	他ラ	他ラ					他ラ	他ラ	他ラ
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
一九、〇〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
前九時山川發后一時二〇分鹿兒島飯着試験終了 前七時五〇分硫黄島發全八時四〇分從流同一一時終流同 五時山川入港 前六時一〇分口永良部發同八時中瀬從流全一〇時一〇分 終流后四時硫黄島從流全八時三〇分終流 前八時四〇分口永良部發全九時三五分中瀬從流后四時終 流同五時五十分口永良部入港 荒天口永良部休泊 同 荒天口永良部休泊 同 荒天口永良部休泊 荒天口永良部休泊 前三時二五分口永良部發同九時四〇分芽瀬著從流后三時 三〇分終流全八時五八分口永良部ニ入泊											

新垣

黒島

硫黄島

竹島

湯瀬

梅音ソネ

屋久曾根

口永良部島

屋

久

島

栗生

永田

湊

り

子中曾根

木上

ナ

子

ツ

ヨ
ワ
ヘ
テ
ホ
カ
メ
タ
ル
レ

東新ソネ

西新ソネ

木

ン

傳書鳩利用試驗

試驗趣旨

本試驗ハ傳書鳩ニヨリ海上ニ於ケル鯉漁船ト陸地間トノ連絡通信ヲ目的トシテ大正十年ヨリ試驗ニ着手シ其成績極メテ良好ヲ示シ且ツ經濟的利益ト其ノ使用法容易ナルトニヨリ漁場通信トシテ漸次一般ニ確認セラレツ、アリテ本年ニ於テモ川邊郡枕崎町所在鳩舎ニ於テ繼續シ獎勵及飼育上ニ於ケル飼料ノ改良試驗ヲナシタリ

一、飼育蕃殖

飼育鳩増減

各月末各室ノ現在鳩羽數左ノ如シ

各鳩室現在數

月	別	壹 號 室	貳 號 室	試 驗 室	計	記 事
四	月	五八	二七	一六	一〇一	試驗室四羽入四室合計ヲ示ス
五	月	四九	二九	一六	九四	
六	月	五七	二五	一六	九八	
七	月	七三	三四	一六	一二三	
八	月	九〇	三五	一六	一四一	
九	月	七五	三四	一六	一二五	
十	月	七二	三五	一六	一二三	
十一	月	六四	三三	一六	一二三	
十二	月	六五	三四	一六	一二五	

十三年度末狀況

種別	鳩羽數	十三年中ノ失踪及死亡	希望者配布	十四年三月末現在羽數	同上種別
大正十年陸軍省ヨリ収容鳩	十三年四月一日現在 一四	四	一	一〇	雄雌 三七
大正十一年ヨリ十二年度中孵化鳩	三三五	一八四	七二	七九	雄雌 四三 三六
十三年度孵化鳩	二四三	三五 六九	一二五	一四	雄雌 一一 二二
計	五九二	二九二	一九七	一〇三	雄雌 四八 五五

死亡鳩數
(十三年中)

[illegible]

六月九日	六月二十一日	九三	灰胡麻白アチ	十二年二月	雄	ミユゲ病
九月二日	九月十一日	一六六	灰	十二年六月	雌	眼病
十二月一日	十二月九日	二三	黒胡麻	十一年四月	雄	ミユゲ病
三月一日	三月四日	一二二	灰胡麻	十二年三月	雄	猫傷ニテ死ス
三月八日	三月八日	一三三	灰胡麻片羽根白	十二年八月	雌	全

産卵孵化

本年四月ヨリ十四年三月中ニ於ケル産卵總數四百三十二個ニシテ内抱卵中破損及腐敗セシモノ百九十二個之レガ孵化セルモノ二百四十三羽ノ内八十六羽死亡シ雛鳩トナリシモノ百五十七羽ニシテ其月別狀況左ノ如シ

産卵及孵化數

月	別	産卵數	破損	抱卵中腐敗	孵化數	孵化後死亡	雛鳩累計
四月	月	四〇	三	九	二三	六	一七
五月	月	三三	二	八	三八	五	五〇
六月	月	四五	一〇	三	二七	一二	六五
七月	月	一〇	一	一	二二	八	七九
八月	月	四四	二	一一	三五	一〇	一〇四
九月	月	一	一	一	二	一五	九一
十月	月	六五	四	二四	二四	三	一一二
十一月	月	一四	二	一	一六	六	一二二
十二月	月	五〇	二七	二七	一〇	六	一二六
一月	月	四二	三	二六	一三	三	一三六

傳書鳩利用試験

二	三	計	月	月
四三	四五	四三二		
八	四	四三		
二一	一八	一四九		
一六	一七	二四三		
七	五	八六		
一四五	一五七			

失踪鳩

本年四月ヨリ十四年三月中ニ於ケル失踪鳩羽數ハ總計三十三羽ニシテ内八羽ハ舍外運動中鷹ノ襲撃ヲ受ケシ際行方不明トナリ他ノ二十五羽ハ鯉漁船使鳩ノ際雨天放鳩又ハ夕刻放鳩セシタメ方向ヲ失シ其ノ他歸還途中ニ於テ猛鳥類ニ邀撃セラレテ失踪セルモノナリ其ノ失踪鳩狀況左ノ如シ

失踪鳩番號 (十三年中)

失踪月日	鳩番號	羽色及特徴	性別	記	事
四月十一日	五六	灰 胡 麻	雄	第一旭丸於垂水放鳩ノ際失踪ス	
全	五七	灰 胡 麻	雌	第三經子丸硫黄島ヨリ放鳩ノ際失踪ス	
四月十五日	一六五	灰 栗 二 引	雄	大群丸於垂水放鳩ノ際失踪ス	
四月十七日	一一四	灰 胡 麻	雌	第一經子丸於垂水放鳩ノ際失踪ス	
五月十八日	七五	濃 灰 胡 麻	雄	日達丸山川港ニテ放鳩ノ際失踪ス	
五月廿七日	三六	灰 胡 麻	雄	第三余丸硫黄島ヨリ放鳩ノ際失踪ス	
五月三十日	六一四	灰 胡 麻	雄	第三經子丸湯瀬ヨリ放鳩ノ際失踪ス	
全	五四	栗 胡 麻	雄	第二經子丸右同	
全	一七三	灰 胡 麻	雄	全	
六月十日	一〇〇	灰 胡 麻	雌	第三余丸口永耳部島ニテ放鳩ノ際失踪ス	
八月十九日	九八	モザイ 麻	雄	鹿兒島市ニテ暴風再試験ノ際失踪ス	

七月二十日	一四三	灰	胡	麻	雄	第二旭丸於垂水放鳩ノ際失踪ス 舍外運動中鷹害ノタメ行方不明トナル
九月十日	三二一	灰	胡	麻	雌	全
十月二十五日	三〇三	灰胡麻眼尻差毛	雌	全	金山丸黒島ヨリ放鳩ノ際失踪ス	
全	二九一	灰	胡	麻	雌	全
十月二十一日	三三二	栗	胡	麻	雌	全
全	一〇三	モザイ	ク	雌	全	照洋丸屋久島放鳩ノ際失踪ス
十月十五日	一四九	灰	胡	麻	雌	全
全	九五	灰	栗二引	雄	全	全
全	一〇九	灰	胡	麻	雄	全
全	一一八	灰	胡	麻	雄	全
全	九七	灰	胡	麻	雄	全
十二月五日	三〇四	黒	胡	麻	雄	舍外運動中鷹害ノタメ失踪ス
一月十七日	二一	灰	胡麻胸白	雄	全	全
全	八三	灰	胡	麻	雄	大神丸櫻島ヨリ放鳩ノ際失踪ス
二月十一日	八二	濃	灰	胡	雄	第一大正丸碓黄島ニテ放鳩ノ際失踪ス
二月十二日	一二九	濃	灰	胡	雌	福茂丸片浦ヨリ放鳩ノ際鷹害ノタメ失踪ス
二月十四日	九六	灰	胡	麻	雄	全
全	一四四	灰	胡	麻	雄	全
全	二七一	黒	胡	麻	雄	舍外運動中鷹害ノタメ行方不明トナル
二月二十二日	一四八五	灰	胡	麻	雌	福茂丸於垂水放鳩ノ際失踪ス
三月十七日	九二	灰胡麻片羽根白	雌	全	幸榮丸於垂水放鳩ノ際失踪ス	
三月十八日	三二〇	灰	胡	麻	雄	(雄二四雌九)
計	三十三羽	灰	胡	麻	雄	

二、漁場通信

1011

試験經過

十三年四月ヨリ十四年三月迄ノ鯉漁船携帶回数八十六回ニシテ内七回ハ本船ガ夜間入港及天候不良ノ爲メ放鳩ノ機會ヲ失シ他ノ七十九回ハ本船ト陸地間ノ連絡通信ヲナシタルモノニシテ之ガ漁場及歸港途次沖合ヨリ漁獲高ヲ報告セシモノハ二十八回又出漁ニ際シテ進航中本船ノ行動及餌料狀況ヲ報告セシモノ四十六回其ノ他機關故障又ハ本船ノ必要ニ應ジテ使用セシモノ五回ニシテ何レモ有効ニ通信ヲナシタリ

本年中漁船携帶鳩延數ハ總計二百五十九羽ナルモ實際ニ於ケル使用鳩延數ハ二百三十八羽ニシテ内鷹害ノタメ又ハ天候不良等ニ由リ行方不明トナリシモノ二十四羽ニシテ鯉漁船ノ使鳩成績左ノ如シ

鯉漁船使鳩成績

船名	積込月日	羽數	放鳩月日	放鳩位置及距離	歸舍日時	時間	力(米)	本船歸着比較	記	事
第二清海丸	四月十日	三	前四月十一日 前九月五〇	垂水(吉米) 五八	前四月十一日 前二〇〇〇	一、一〇	一、六〇		出漁報告	
第一旭丸	四月七日	三	前四月十一日 前九月〇〇	垂水 五八	前四月十一日 前二〇〇〇	二、〇〇	六四〇		同 一羽失踪	
第三姪子丸	四月七日	二	后四月十一日 后五月四〇	硫黄島 五六	后四月十四日 后四〇〇〇	一	一	本船ヨリ后ル	一、五〇〇尾漁獲	
第三清海丸	四月十日	三	前四月十三日 前八月二〇	知林ノ沖 五〇	前四月十三日 前二〇〇〇	一、二〇	七二〇		出漁報告	
大神丸	四月十四日	三	前四月十五日 前九月三〇	垂水 五八	前四月十五日 前一〇〇五〇	一、二〇	九六〇		同 一羽失踪	
第一姪子丸	四月十五日	三	前四月十七日 前七月〇〇	垂水 五八	前四月十七日 前九〇〇〇	二、〇〇	六四〇		同 一羽失踪	

富士丸	四月二十日	三	前四月二十一日 前七、三〇	垂	五八水	前四月二十一日 前九、四〇	二、〇〇	五八〇	同
第二傘丸	四月十三日	三	前四月十三日 前四、二六	櫻	五〇島	前四月十三日 前四、二六	一、〇〇	八三〇	夜間入港放鳩ナシ
第三南薩丸	四月二十六日	三	前四月二十六日 前四、二六	櫻	五〇島	前四月二十六日 前四、二六	一、〇〇	八三〇	出漁報告
日出丸	四月二十九日	二	前四月二十九日 前四、二六	開	三〇沖	前四月二十九日 前四、二六	七五〇	七五〇	同
第九南薩丸	四月廿三日	三	前四月廿三日 前四、二六	垂	五六水	前四月廿三日 前四、二六	一、〇〇	九三〇	同
第三蛭子丸	四月廿六日	三	前四月廿六日 前四、二六	硫黄島	五〇島	前四月廿六日 前四、二六	三、〇〇	三三〇	一、五〇〇尾漁獲報告
常盤丸	四月廿四日	三	前四月廿四日 前四、二六	硫黄島附近	四〇沖	前四月廿四日 前四、二六	一、〇〇	一、〇〇	本船ヨリ一時 出分早着
第二新蛭子丸	五月三日	三	前五月三日 前四、二六	開	三六沖	前五月三日 前四、二六	四〇	一、一〇八	出漁報告
第一清海丸	五月五日	二	前五月五日 前四、二六	櫻	五〇島	前五月五日 前四、二六	二、〇〇	五五五	同
寶丸	五月四日	三	前五月四日 前四、二六	垂	五六水	前五月四日 前四、二六	一、〇〇	八〇〇	同
第三南薩丸	五月四日	三	前五月四日 前四、二六	立	二〇沖	前五月四日 前四、二六	三、〇〇	八〇〇	本船ヨリ廿分 早着
天佑丸	五月九日	三	前五月九日 前四、二六	山	五〇沖	前五月九日 前四、二六	一、〇〇	八三〇	出漁報告
第五南薩丸	五月廿九日	三	前五月廿九日 前四、二六	山	五〇沖	前五月廿九日 前四、二六	一、〇〇	八三〇	夜間入港放鳩ナシ
日進丸	五月十六日	四	前五月十六日 前四、二六	山	四二沖	前五月十六日 前四、二六	一、〇〇	一、〇〇	機關故障出漁中止一羽失踪
福茂丸	五月二十一日	三	前五月二十一日 前四、二六	開	三〇沖	前五月二十一日 前四、二六	七五〇	七五〇	出漁報告

神 山 丸	第一 煙子 丸	第一 大正 丸	第三 傘丸	神 山 丸	第一 清海 丸	第五 煙子 丸	第一 旭丸	第一 煙子 丸	寶 丸	第三 煙子 丸	第三 傘丸	第二 旭丸	千 代 丸	第二 大正 丸
六月十二日	六月十日	六月二日	五月廿九日	六月八日	六月七日	五月五日	五月廿七日	六月一日	五月廿三日	五月廿五日	五月十三日	五月廿二日	五月七日	五月七日
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	四	四	三	三	三
前六月十三日 五〇〇〇	前六月十三日 五〇〇〇		前六月九日 四、二〇〇	后六月九日 二〇〇〇	后六月七日 四〇〇〇	前六月七日 九、四〇〇	前六月四日 五、〇〇〇	后六月一日 四、〇〇〇	前六月一日 六、〇〇〇	前五月三十日 八、〇〇〇	前五月廿七日 五、〇〇〇	前五月二十六日 四、四〇〇	前五月二十三日 五、二〇〇	后五月二十二日 四時二十分
中 曾 一 二〇根	硫 黄 五 八島		口永良部島 一 二〇〇	開 四 沖	垂 五 八水	垂 五 八水	立 神 三 〇沖	垂 五 八水	立 神 二 〇沖	湯 六 六瀬	硫 黄 六 〇島	立 四 神	山 川 四 港	垂 五 八水
后六月十三日 四〇〇〇	前六月十三日 六、五〇〇		前六月十日 六、〇〇〇	后六月九日 五、〇〇〇	后六月七日 六、〇〇〇	前六月七日 一、〇〇〇	前六月四日 五、三〇〇	后六月一日 六、二五〇	前六月一日 六、三〇〇	后五月卅日 一、〇〇〇	前五月廿七日 七、三五〇	前五月二十六日 五、一〇〇	前五月廿三日 六、五〇〇	后五月廿二日 七、〇〇〇
二、〇〇	一、〇〇		三、〇〇	三、〇〇	二、〇〇	一、〇〇	三、〇〇	二、五〇	三、〇〇	五、〇〇	二、五〇	三、〇〇	一、〇〇	二、〇〇
二〇〇	六〇〇		五七六本船ヨリ后ル	二六六	六四四	一、二〇〇	一、三〇〇 本船ヨリ一時 半早着	五七	一、〇〇〇 本船同時到着	二四四 本船ヨリ后ル	四六二 本船ヨリ二時 間早着	二〇〇 本船ト全時到 着	八四〇	四六三
出漁報告	機関故障ノタメ同島碇泊中報告	夜間入港放鳩ナシ	五〇〇尾漁獲報告 一羽失踪	同	同	出漁報告	七五〇尾漁獲報告	出漁報告	一、六〇〇尾漁獲報告	三羽失踪	二、八〇〇尾漁獲報告	三、〇〇〇尾漁獲 一羽失踪	四、一〇〇尾漁獲	同 總全部山川水揚シ今朝再度出 漁ス

第二南薩丸	日進丸	富士丸	第三余丸	第一新煙子丸	常盤丸	千代丸	大神丸	日進丸	第三南薩丸	富士丸	福茂丸	第一新煙子丸	常盤丸	第二清海丸
六月十五日	六月十六日	六月十一日	六月十九日	六月十八日	六月十四日	六月二十二日	六月二十五日	七月二日	六月三十日	七月六日	七月一日	七月三日	七月七日	七月四日
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
前六、十六日	后五、十七日	前六、十七日	前六、十七日	前六、二十日	前六、二十七日	前六、二十九日	前七、二日	前七、三日	前七、三日	前七、七日	前七、七日	前七、九日	前七、九日	前七、十二日
垂	硫	硫	硫	垂	立	硫	硫	垂	竹	開	硫	硫	垂	竹
五八水	五八島	五八島	五八島	五八水	神二四沖	五六島	五六島	五八水	六四島	四〇沖	五六島	六〇島	五八水	六四島
前六、十六日	后六、十七日	前六、十七日	前六、十七日	后六、二十日	前六、二十七日	前六、二十九日	前七、三日	后七、三日	前七、三日	前七、七日	前七、七日	后七、九日	前七、九日	前六、十二日
五	二〇〇	二〇〇	四〇〇	三〇〇	五	三〇〇	一〇〇〇	五〇〇	五〇〇	二二〇	一三〇	四〇〇	六〇〇	二〇〇
一、二六九	六四四	五八〇	三二	四八三	八〇〇	五三三	二二三	六六七	二二七	二二〇	五〇九	一、五〇〇	一、六五	四三二
同	同	七〇〇尾漁獲報告	出漁報告	同	三〇〇尾漁獲報告	八〇〇尾漁獲報告	一、五〇〇尾漁獲報告	出漁中止報告	出漁報告	同	三〇〇尾漁獲報告	三〇〇尾漁獲報告	出漁報告	一、〇〇〇尾漁獲報告
本船ヨリ一時 間早着	本船ヨリ一時 間早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着	本船ヨリ四十 分早着

第一鯉子丸	七月三日	三	七月五日、三〇	口永良部島	七月十日	三、〇〇	七、三〇	本船ヨリ后ル	八〇〇尾漁獲報告
第二新鯉子丸	七月十四日	三	七月十六日	開 四〇沖	七月十六日	一、三〇	六、六〇	出漁報告	
福茂丸	七月十六日	三						雨天ノ爲メ放鳩ナシ	
幸榮丸	七月十日	二	七月十七日	枕崎港外	七月十七日	二〇		本船ト同時に	雨天放鳩
第一旭丸	七月十三日	三	七月十七日	立 神 二〇沖	七月十八日	四、〇〇	六、〇〇	本船ヨリ后ル	雨天放鳩
第二旭丸	七月十九日	三	七月二十日	垂 五八水	七月二十日	三、〇〇	六、〇〇	本船ヨリ后ル	雨天放鳩
第二南薩丸	七月二十一日	三	七月二十三	開 五〇沖	七月二十三	二、〇〇	五、〇〇	同	同
第一鯉子丸	七月二十四日	三	七月二十五	垂 五八水	七月二十五	一、〇〇	二、〇〇	同	同
天佑丸	七月二十三日	三	七月二十六	垂 五八水	七月二十六	一、〇〇	六、六〇	同	同
日進丸	七月二十五日	三	七月二十九	立 神 三〇沖	七月二十九	三、〇〇	七、〇〇	本船ヨリ廿分	七〇〇尾漁獲報告
大神丸	七月二十六日	三						早着	夜間入港放鳩ナシ
第一清海丸	七月三十日	三	八月四日	硫 黄 五六島	八月四日	二、〇〇	五、〇〇	本船ト同時に	五〇〇尾漁獲報告
第三南薩丸	八月四日	三	八月五日	垂 五八水	八月五日	二、〇〇	六、六〇	出漁報告	
日出丸	八月一日	三						夜間入港放鳩ナシ	
第二傘丸	八月五日	三	八月八日	開 三〇沖	八月五日	三、〇〇	八、〇〇	出漁報告	

福茂丸	第一清澤丸	天佑丸	第二傘丸	日進丸	第一蛭子丸	常盤丸	寶丸	第二南薩丸	富士丸	第三南薩丸	照洋丸	金山丸	大神丸	第一大正丸
八月七日	八月八日	八月二十三日	八月二十五日	八月二十六日	九月一日	八月二十七日	八月廿七日	八月三十日	九月四日	九月二日	十月十日	十一月十八日	二月八日	二月十日
三	〇	三	三	三	三	三	三	三	三	三	五	三	三	三
前八月九日	后八月九日	后八月二十四日	前八月二十七日	前八月三十日	前九月二日	前九月五日	前九月四日	前九月三日	前九月六日	前九月七日	前十月六日	后十一月十一日	前二月十一日	前二月十二日
垂	垂	開	確	立	山	立	確		垂	確	屋	黑	櫻	確
五八水	五八水	三〇沖	五六島	三〇沖	川二港	三〇沖	五六島		五八水	五六島	久〇島	六三島	五〇島	五六島
前八月八日	后八月九日	后八月二十四日	前八月二十七日	前八月三十日	前九月二日	前九月五日	前九月四日	前九月三日	前九月六日	前九月七日	前十月六日	后十一月十一日	前二月十一日	前二月十二日
一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇	一、〇〇
一、二〇	八元	五元	一、四〇	八〇〇	一、五〇〇	三、〇〇〇	九三	一	八八	九三	一〇八	一、五〇〇	五五	一、七五
同	同	同	同	本船ヨリ卅分 早着	本船ヨリ二時 間早着	本船ヨリ二時 間早着	本船ヨリ一時 五十分早着		本船ヨリ二時 間早着	本船ヨリ二時 間早着				本船ヨリ二時 間早着
同	同	同	同	二二〇〇尾漁獲報告	出漁報告	四〇〇尾漁獲報告	三〇〇尾漁獲報告	夜間入港放鳩ナシ	出漁報告	五〇〇尾漁獲報告	四羽失踪トナル	出漁報告	出漁中止報告	機關故障ノ爲メ引返

福茂丸	二月十三日	三	二月十四日	片	二三浦	二月二十一日	一	一	鷹害ノタメ三羽共失踪
第一新蛭子丸	二月二十日	二	二月二十一日	櫻	五〇島	二月二十一日	二〇〇	五五	出漁報告
福茂丸	三月十六日	三	三月十七日	垂	五八水	三月十七日	二〇〇	一、二六	同
幸榮丸	三月十七日	三	三月十八日	垂	五八水	三月十八日	二〇〇	六四	同
第一蛭子丸	三月十九日	三	三月廿五日	硫黃	五六島	三月廿五日	四〇〇	一、二六	同
本船ヨリ二時 間二十分早着									
一、三〇〇尾漁獲報告									

三、飼料試驗

趣旨經過

本試驗ハ民間飼育獎勵ノ目的ニテ飼料種類ノ配合試驗ヲナシタルモノニシテ十二年五月四羽入試驗場
舍ヲ四室建造シ同年六月ヨリ從來給與セル玉蜀黍及豌豆類ノ飼料ヲ全廢シ是レニ代ユル穀類ヲ以テ配合試驗ヲナシ比
較的成績良好ヲ示シタルニヨリ本年度ニ於テモ此ノ試驗ヲ續行スルコト、セリ其ノ種類配合左ノ如シ

飼料種類配合

種 類	壹 號 室	貳 號 室	參 號 室	四 號 室
白 豌豆	六、〇	粟	三、二	粟
平 蜀黍	二、八	參	二、八	五、二
玄 米	〇、四	玄 米	二、四	二、四
桑 子	〇、八	桑 子	二、四	二、四
四羽對日量	六、〇	三、二	二、八	五、二
種 類	粟	參	粟	粟
四羽對日量	六、〇	三、二	二、八	五、二
種 類	桑 子	玄 米	桑 子	桑 子
四羽對日量	〇、八	〇、四	〇、四	〇、四

計	10.0	10.0	10.0	10.0
記事一羽平均二五勺	同上	同上	同上	同上

体量増減

本年四月ヨリ三月迄ノ飼料種類配合試験ニ依ル各室鳩ノ体量増減次ノ如シ

各室体量増減表 (四羽ノ体量ヲ示ス)

月別	壹號室	貳號室	參號室	四號室
四月	三九九 増	三九四 増	三六四 増	三九一 増
五月	四〇二 増	三八九 増	三六〇 増	四〇二 増
六月	四四〇 増	四〇八 増	三九四 増	四二六 増
七月	四一四 増	四〇〇 増	三七二 増	三六六 増
八月	四一四 増	三九五 増	三七九 増	三七二 増
九月	四〇八 増	三九八 増	三八四 増	四二六 増
十月	三九五 増	三八一 増	三八二 増	四一八 増
十一月	三八六 増	三七八 増	三七八 増	四一四 増
十二月	四四二 増	三八七 増	三七八 増	四一〇 増
一月	四四〇 増	三〇三 増	四〇六 増	四〇六 増
二月	四三四 増	四一五 増	三九二 増	三九八 増
三月	四三二 増	四二〇 増	三七六 増	三九四 増
減増	九減 増	一六減 増	三四減 増	一五減 増
減増	三増	五減	四減	一一増
減増	三八増	一九増	三四増	二四増
減増	二六減	八減	二二減	六〇減
減増	六減	五減	七増	六増
減増	一二減	一七減	五増	五四増
減増	九減	三減	二減	八減
減増	五六増	三減	四減	四減
減増	二減	一六増	二二増	四減
減増	六減	一二増	一四減	八減
減増	二減	五増	一六減	四減

傳書鳩利用試験

一ヶ月三匁平均
一羽平均八匁二分五厘

一ヶ月三匁三分六厘
一羽平均五匁九分

一ヶ月一匁九厘
一羽平均三匁

一ヶ月二分七厘
一羽平均七分五厘

四、傳書鳩民間配布

配布經過 鳩ガ經濟的ナル通信機關トシテ實用ニ適スルコトハ本場ノ漁場通信試驗ニ由リ年々有効ナルヲ以テ廣ク民間飼育ヲ獎勵センガ爲メ前年度ヨリ雜鳩ヲ配布シ本年モ希望者續出セルヲ以テ總計百二十五羽ヲ左記ヘ配布セリ

鳩番號及配布先

鳩番號	羽色特徵	配布先
二二五三 四四三〇	栗モザ胡イ ク麻	川邊郡西南村坊之津 森吉二
二二三三 四四七〇	栗モザ胡イ ク麻	川邊郡西南村坊之津 川崎市次郎
二二三三 六四九二	栗モザ胡イ ク麻	川邊郡枕崎町枕崎 吉井重義
二二三三 六四九二	栗モザ胡イ ク麻	川邊郡枕崎町枕崎 吉井重義

三三 七〇 七八	二六 四	三三 五	三三 四三 九九	三三 一五 三二	三二 一九 八八	二二 三六 九七	三二 四八 八七	三三 三四 七四	三三 二一 六九	三三 一〇 六二	二二 五五 八二	二二 六五 二一	二二 五六 七〇	二二 三六 一五	二二 六四 一六
濃灰胡麻 白灰胡麻 灰胡麻	モザイ ク	灰胡麻	灰黑胡麻	灰栗二引	モザイ ク	灰胡麻 灰胡麻 灰胡麻	灰胡麻	灰胡麻 灰胡麻 灰胡麻	灰胡麻 灰胡麻 灰胡麻	モザイ ク	灰胡麻 灰胡麻 灰胡麻	灰胡麻 灰胡麻 灰胡麻	灰胡麻 灰胡麻 灰胡麻	灰胡麻 灰胡麻 灰胡麻	灰胡麻 灰胡麻 灰胡麻

鹿兒島種畜場伊敷分場
川邊郡西南方村坊ノ津

辦定太郎

川邊郡枕崎町枕崎

山之内元志

鹿兒島市吳町

今井嘉市

川邊郡枕崎町枕崎

中村常光

川邊郡西南方村坊之津

森八代吉

川邊郡枕崎町枕崎

國見國治

三三	三	三二	三三	三三	二二	三三	三	三三	三三	三	三三	三二	三三	一	三三
四二	三	四三	〇九	一四	八〇	二七	一	一二	〇二	三	二二	二九	三三	四	〇〇
三三	五	六七	七六	五〇	六九	四一	七	一〇	五七	〇	八一	九二	四三	八	〇六

灰灰	灰	黒灰	灰黒	灰灰	灰灰	栗灰	栗	灰灰	灰灰	灰	灰黒	灰黒	モザイク 灰胡麻片羽根白	灰	白灰
栗二 胡	胡	胡	胡	雨 胡羽根	栗二 胡	胡	胡	胡	胡		胡	胡			斑
麻引	麻	麻	麻	麻白	麻引	麻	麻	麻	麻		麻	麻			点

揖宿郡山川

川邊郡笠砂村片浦

鹿兒島郡四櫻島小池

揖宿郡頰娃村川尻

川邊郡枕崎町枕崎

川邊郡枕崎町枕崎

川邊郡枕崎町枕崎

川邊郡枕崎町枕崎

川邊郡枕崎町枕崎

川邊郡枕崎町枕崎

名古屋市千種町戲道病院

海江田源七

流業組合

今給黎美芳

松本覺盛

竹山重三郎

濱崎十五郎

萩原利行

中村吉太郎

田代正盛

上釜茂助

野田甫

三 七 一	三 六 九	三 八 三	三 六 七	三 七 七	三 六 五	三 五 六	三 四 八	三 八 五	三 七 四	三 五 四	三 八 九	三 四 二	三 六 三	三 五 七	三 六 一	三 五 五
灰	疊 灰 胡 灰 麻	灰 栗 二 引	灰 胡 麻	灰 黑 胡 麻	灰 栗 胡 麻	灰 灰 胡 麻	灰 灰 胡 麻	灰 胡 麻	灰 栗 胡 麻	灰 灰 胡 麻	灰 阿 羽 根 白	灰 栗 二 引	灰 胡 麻	モ ザ イ ク 麻	灰 胡 麻	栗 灰 胡 麻 白 ア チ

三三 七七 三六	三三 九九 四八	三三 八九 四七	四四 〇〇 〇一	三三 九九 一五	三三 九九 二六	三三 九九 九二	三三 九九 〇〇	三三 八八 六二	三三 七七 八九	三三 八八 七一	三三 五七 九〇	三三 六六 〇二			
灰灰 胡胡 麻麻	灰灰 胡胡 麻	黒モ 田ザ イ 麻ク	灰ク 胡 麻ロ	灰栗 胡 麻	濃灰 灰胡 麻	灰灰 胡胡 麻	灰胡 麻阿 羽根 白	黒灰 胡胡 麻	黒灰 胡 麻	灰胡 麻阿 羽根 白	灰モ ザイ ク	灰胡 麻眼 尻差 毛			
川邊郡枕崎町枕崎	川邊郡枕崎町小港	肝屬郡牛根村	川邊郡西南方村坊ノ津	川邊郡西南方村泊	鹿兒島市泉町	山口縣大津郡仙崎町	川邊郡西南方村泊	安達 誠助	大島 政造	吉田 精一郎	宮田 靜男	長濱 鉄次	實業補習學校	小港 藤助	中村 竹次郎

以上配布鳩ハ本場指導ノ方法ニヨリ飼育サレ漸次實用ニ供サレ居レリ